

熊本市川尻校区第12町内自治会ハザードマップ(防災地図)

令和4年(2022年)8月作成



熊本市
ハザードマップ
はこちら



危険交差点
交通量が多い
変則交差点で
あり横断が
困難(危険)

危険水路
用水路と道路の境界が
わからなくなる(浸水時)



- 洪水危険箇所
 - 市指定緊急避難場所
 - 地域指定一時避難場所
 - 危険な水路
 - マンホール
 - 公衆電話
 - 消防水防倉庫
 - 消火栓
 - 避難ルート
 - 河川・水路
 - 狭い道路
 - 浸水しやすい箇所
 - AED 設置施設
- 数字：標高(メートル)

至城南中学校

警戒レベルと市民が取るべき行動			
警戒レベル	気象庁の気象情報	行政からの避難情報	市民が取るべき行動
5	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報	緊急安全確保 (発令されない場合もある)	命の危険、直ちに安全確保! ・すでに安全な避難ができず、命の危険な状況。 ・「今いる場所」よりも「より安全な場所」へ直ちに移動する。
<警戒レベル4までに必ず避難>			
4	・土砂災害警戒情報 ・高潮(特別)警報 ・氾濫危険情報	避難指示	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。 ・大雨等により避難経路の道路の冠水が予想される場合は、冠水前に避難をしておく。
3	・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者や乳幼児がいる世帯などは避難に不安がある人は、必要に応じ、避難の準備をしたり、自主的に避難する。
2	・大雨注意報 ・高潮注意報	・洪水注意報 ・氾濫注意情報	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認する。 ・避難情報の把握手段を再確認する。 ・非常持出し品の準備や備蓄品の確認をする。
1	・早期注意情報(警戒級の可能性)		災害への心構えを高める

河川の警戒レベルと市民が取るべき行動		
警戒レベル	発表基準と水位の概要	市民が取るべき行動
5	・氾濫の発生	・命の危険、直ちに安全確保!
4	・氾濫危険水位 堤防の決壊など重大な災害発生恐れがある水位	・避難経路に冠水が予想される場合は、冠水前に避難をしておく。
3	・避難判断水位 避難行動を行う目安となる水位	・高齢者や乳幼児がいる世帯などは、必要に応じ、避難準備や自主的に避難する。
2	・氾濫注意水位 避難行動の準備を行う目安となる水位	・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認する。
1	・水防団待機水位	・水防活動を行うために待機する水位
通常の水位		

※河川の水位上昇は、雨の降り方と時間差があるため小降りになっても注意する。

危険水路
無田川堰解放時冠水

川尻小学校
グラウンド

